

天声人語

私の名前は安倍（Abe）ですが、米国でときおりエイブと発音されます。しかし悪い気はありません」。安倍晋三首相が日米首脳会談後の会見で語っていた。貧しい家庭の生まれから大統領になつたエイブラハム・リンカーンを連想させるからだ▼2年前の米議会演説でも同じ話をしており、米民主主義をたたえる十八番なのだろう。今回違うのはトランプ大統領と並べたことだ。リンカーンが「民主主義のチャンピオン」を象徴し、公職経験のないトランプ氏が選ばれたのは、「民主主義のダイナミズム」を示していると▼リンカーンには、見た目はぱつとしなかつたという話もある。「風采の上がらない、声のカン高いリンカーンは、今日なら大統領になれないかったことだろう」とニクソン元大統領の著書にある。歴史に残る演説もテレビ時代には向かないのだという▼長々しい演説よりたつた1秒の宣伝文句が力を持つ時代だとニクソンは苦々しく書いている。テレビの人気者から大統領になり、ツイッターを駆使するトランプ氏の面目躍如である▼リンカーンは奴隸制をめぐる南部と北部の対立を憂えていた。「分裂して争う家は立つていいことができない」。世論の分裂を意に介さない現大統領と仲良くするのは、家の半分と付き合つているような気がしてくる▼人権や自由貿易などの価値をかき乱しているかに見えるトランプ氏に、言うべきことはもっとあるだろう。抱き合うほどに親しくなつたのなら、なおさらである。

2017・2・12